



地元野菜で秋を感じる

第40回寝屋川市農業まつり

11月19日、打上川治水緑地で開催された農業まつり。市内農家が育てた新鮮野菜や果物などを求め、朝早くから多くの人々が列を作り、一日の総来場者数は約3,000人にのぼりました。今回は第40回記念企画として市内農業者が子どもたちに野菜の栽培方法を指導する体験型イベントも行われ、参加した子どもたちは熱心に話を聞きながらサニーレタスの苗の植え付けをしました。

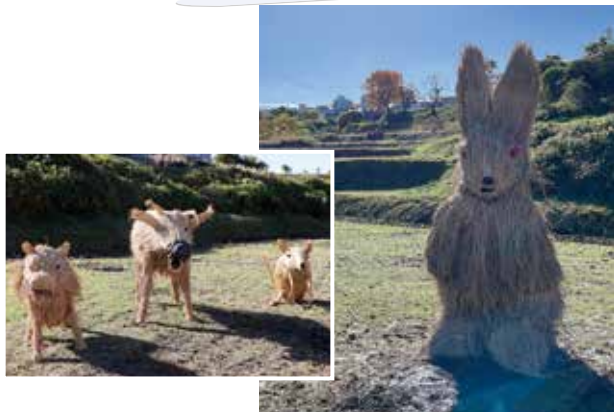


ウサギの竹細工づくり

～ピョンピョン飛躍の年に！

今年のえと「卯（う）」にちなんだウサギの置物を、打上地区の竹細工同好会のメンバーが作りました。

太さが違う地元産の真竹を使用。頭や胴、長い耳を一つ一つ丁寧に作り、ウサギの親子や餅つきなど4種類の置物に仕上げていました。メンバーの一人は「ピョンピョン飛び跳ねるウサギのように飛躍する明るい年になってほしい」と話していました。



高さ約3mの巨大ウサギが高倉地区に！

今年も高倉とんど保存会のメンバーが巨大ウサギを制作。11月4～6日に打上川治水緑地で開催した市のイベント「月見とランタンの夕べ」でお披露目された高さ約3mの巨大ウサギが、高倉地区（梅が丘二丁目）の田んぼ内に姿を現しました。

今回、十二支を一周する記念として、田んぼには過去に制作した、子（ね）・丑（うし）・寅（とら）のミニとんど3体も並んでいます。1月中旬までライトアップされていますので、ぜひ足を運んでみてください。



校舎に映し出される巨大な光のアート

～光が笑顔を、笑顔は光に～

11月26日、香里ヌヴェール学院が宝塚大学と共催で、昨年に引き続き2回目となる「光のアートで校舎を包もうプロジェクト～Light Up Nevers～」を開催し、ライブ配信しました。

日没後、体育館の側面に映し出されたダイナミックで色彩豊かな光のアート「デジタル掛け軸」と、生徒による演奏や合唱が融合し、幻想的な空気が一体を包みました。

今回は投影機材の設置も生徒が行ったとのこと。生徒は「多くの地域の人に楽しんでもらい、親しまれるイベントにしていきたい」と話していました。



2022 青年祭

Let's all join forces ~みんなの力を結集しよう~

11月13日、市民会館で青年祭が開催されました。ミュージック・フリーパフォーマンス・ダンスショーケースの3つの部門に分かれ、大勢の若者たちが思い思いに自分を表現。豪華ゲストを迎え、出演者も来場者も一体となり、会場は大盛り上がりでした。



福娘が「ねや川のえべっさん」をPR

1月9日～11日に市内の住吉神社で行われる十日戎（えびす）「ねや川戎大祭」で参拝者を迎える福娘8人が、12月5日に市役所を訪れました。福娘代表の8人が「ねや川戎で、福・福・福・福、寝屋川発展、はい、はい、はい、はい」などと手拍子でリズムカルに、口上のお囃子（はやし）を披露してくれました。福娘の神田（こうだ）さんは「大学院で建築史を学ぶ中で、自身も神社・仏閣に関わる行事に参加したいと思い、福娘に応募しました。皆さんに笑顔届けたいです」と話してくれました。



農産物品評会

12月2日に農産物品評会が開催され、市内で収穫された野菜67品目の出品の中から審査により12品目が寝屋川市長賞や大阪府知事賞などに選ばれました。農産物品評会は、市内農業の振興などを目的に毎年行われ、品評会出品後には市内の子ども食堂に寄付されました。受け取った子ども食堂の運営者は「寒くなってきたので、新鮮な野菜を使って温かい料理を作りたいです」と話しました。



パナソニックパンサーズと連携協定を締結

市はスポーツ振興やスポーツを通じた地域連携を積極的に推進するため、パナソニックスポーツ株式会社が事業運営する男子バレーボールチーム「パナソニックパンサーズ」と連携協定を締結しました。今後は、市民がスポーツと関わる機会を増やすなど、更なるスポーツの振興や参加型のスポーツ推進に取り組んでいきます。



いしぶみ 碑

寝屋川町誕生記念 (小路北町)

旧寝屋川町が誕生したのは太平洋戦争のさなかの昭和18年4月。九個荘町と友呂岐、豊野、寝屋川の3村が合併し、新しい町の発足を記念して地蔵尊が並ぶ地区の一角に建てられました。高さ1・3mの石碑には「寝屋川町誕生記念」の文字が刻まれているだけ。ほかの記述はなく、設置者や設置年は不明です。

旧寝屋川町が誕生したのは、近くの87歳の男性は「私が中学生だった終戦前後に建てられたと記憶しています」と話します。

石碑の上下2か所に直径約2cmの横穴があり、日の丸を揚げる木製ポールを取り付けるために開けられたそうです。その名残から石碑のことを今も「掲揚台」と呼ぶ住民もいます。



多文化フェスタ・ダンスフェスティバル

11月19日、第13回ねやがわ発!!～みんなおいでよ～多文化フェスタが3年ぶりに開催されました。今年度は新たな試みとして多文化をテーマとした第1回多文化ダンスフェスティバルも共催され、市民会館が多くの来場者でにぎわいました。世界の食べ物が味わえる模擬店、作品の展示と民族衣装や絵本など、実際に触れて楽しむことができるアート&カルチャーなどのイベントを通して、参加者は異文化理解や異文化交流を深めました。



秋の叙勲受章者

※いずれも市内在住、左から（3人目は広瀬市長）

- <瑞宝単光章> 津澤 謙次さん (現淀川左岸水防事務組合水防団木屋水防区分団長)
- <旭日単光章> 高田 晃男さん (元市公平委員会委員長)
- <瑞宝小綬章> 滝 明良さん (元公正取引委員会事務総局九州事務所長)